

V. 研究所図書館

1. 図書館活動

アジア経済研究所図書館（以下「研究所図書館」）は、開発途上地域の資料・情報センターとして開発途上国の経済、政治、社会などの各分野に関わる基礎的文献と最新の資料を広く収集・整理し、利用者に提供してきた。

2013年度は、特に、以下について重点的に取り組んだ。

（1）利用者サービスの強化

来館者数と利用冊数の減少が続いているため、大学関係者の利用拡大をめざして図書館共同利用制度を新設し、3大学図書館と協定を締結した。一方、デジタルアーカイブによる情報提供サービスについては、迅速に研究成果を登録し安定的な稼働を実施した結果、2012年度比でアクセス数は31.2%増、ダウンロード数は37.4%増となった。

（2）大学図書館等との図書館間協力

国立情報学研究所（NII）のオンライン総合目録データベースへの新規登録は全参加館1,384機関中第8位、累計登録数は第10位であった。また、図書館間相互貸借の他機関への貸出は全加盟館1,564機関中6位に位置し、大学図書館等に対する目録データの提供と貸出サービスにおいて多大な貢献を果たした。

（3）広報活動

研究所図書館のPRと途上国理解に向けた啓蒙活動として、資料展示と講演会を横浜市中心図書館、浦安市中央図書館、お茶の水女子大学附属図書館及び研究所図書館において開催し、それぞれ高い評価を得た。また、近隣の大学図書館や公共図書館などを訪問し広報活動に努めた。

（4）第2回市場化テスト（実施期間：2012～2014年度）

実施2年度目にあたる今年度は、より一層非市場化業務との連携を強化し、研究所図書館サービスの質的向上と業務の円滑化を図った結果、仕様書に定められた数値目標をほぼ達成することができた。

2. 資料収集

研究所図書館は、研究所創立以来、開発途上国の政府刊行物、雑誌・新聞、海外の大学・研究機関の調査報告書、統計資料など現地の一次資料に留意して収集を行ってきた。特に、海外の主要な研究機関、政府機関等と研究所図書館との間で行われている出版物等の資料交換制度は、商業ルートでは入手し難い出版物の収集において重要な役割を果たしている。2013年度末の資料交換先は1,010機関（表V-1）である。

V. 研究所図書館

開発途上国の刊行資料については、各国の書店や政府機関から直接購入しているもの及び海外研究員や海外出張者の協力により現地で直接収集しているものがある。2013 年度に後者の方法により資料収集を行った国は、中国、フィリピン、インドネシア、イラン、クウェート、UAE、チュニジア、トルコ及びペルーの 9 カ国であった。

表 V-1 資料交換の相手機関 (2013 年度末)

地 域	国際機関	政府	図書館	研究機関	大学	銀行	企業	各種団体・その他	計	
アジア	16	215	13	81	132	34	1	46	538	
内 訳	東アジア	0	47	6	23	30	6	0	2	114
	東南アジア	9	101	4	10	26	12	0	7	169
	南アジア	0	58	1	26	14	10	1	1	111
	中央アジア	0	5	0	0	0	5	0	0	10
	日本	7	4	2	22	62	1	0	36	134
中東・北アフリカ	2	37	2	9	14	29	0	4	97	
ラテンアメリカ	7	53	0	9	25	37	0	15	146	
アフリカ	4	64	0	4	4	39	0	1	116	
オセアニア	1	10	1	1	8	2	0	1	24	
CIS・東欧	0	5	1	5	2	1	0	0	14	
北米	11	2	1	0	19	1	0	0	34	
西欧	21	0	1	11	7	1	0	0	41	
小 計	62	386	19	120	211	144	1	67	1,010	

2013 年度の一般資料及び統計資料の受入数、累計は表 V-2 のとおりである。

表 V-2 2013 年度資料受入数及び蔵書数

資 料 種 別	単 位	前年度末計	2013 年度 受 入			年度末合計
			購 入	寄贈交換等	計	
洋書 (アジア・アフリカ諸語を含む)	冊	286,199	3,367	2,246	5,613	291,812
和書	冊	92,340	546	935	1,481	93,821
中国書	冊	47,709	1,077	452	1,529	49,238
朝鮮・韓国書	冊	23,810	122	371	493	24,303
製本雑誌	冊	75,151	0	1,513	1,513	76,664
統計資料	冊	112,901	1,562	1,344	2,906	115,807
合 計	冊	638,110	6,674	6,861	13,535	651,645

新聞	タイトル	475	(新規継続) 1	1	476
雑誌	タイトル	3,688	(新規継続) 18	18	3,706
地図	枚	54,123	0	0	54,123
マイクロフィルム	本	87,264	165	165	87,429
マイクロフィッシュ	枚	48,406	0	0	48,406
ビデオテープ	本	446	0	0	446
電子記録媒体	枚	5,489	422	422	5,911

3. 資料整理・保存

(1) 目録

2013年度は合計14,506冊(点)の整理を実施した。主な内訳は、和洋書7,550冊、中国語1,889冊、韓国語643冊、その他のアジア諸言語資料1,831冊(多い順にタイ語、アラビア語、インドネシア語、マレー語、ベトナム語、ペルシア語、トルコ語、クメール語、ラオ語等)、年刊資料2,593冊、CD-ROM等のAV資料438点であった。作成した目録データは、研究所の蔵書目録データベースへ登録すると同時に、国立情報学研究所(NII)のオンライン総合目録データベース(NACSIS-CAT)へも登録した。特に、NACSIS-CATへの新規目録登録数は6,347点で、全参加館(1,385館)中、第9位(昨年度12位)であった。これは、研究所図書館の迅速な整理と、他機関にない貴重な資料を多数所蔵していることを示すものである。

(2) 雑誌記事索引

2013年度の雑誌記事索引採録件数は、表V-3に示すように16,060件(2012年度実績:16,515件)であった。研究所図書館の新着資料について、受入図書リスト及び雑誌記事索引を毎月継続的にウェブサイト公開した。

表 V-3 2013 年度雑誌記事索引採録数

言語 種別	英語	日本語	中国語	コア語	スペイン 語	ポルトガル 語	フランス語	アラビア 語	インドネシア 語	マレー語	合計
	採録 件数	6,627	2,321	5,325	421	557	87	138	409	166	

(3) 資料の保存

新聞の長期保存と利用のため、新聞のマイクロフィルム化を行っている。2013年度はマイクロフィルム化の対象となっている16紙のうち7紙について業務委託を行い165リール作成した。

4. 利用者サービス

(1) 閲覧

2013年度の研究所図書館の閲覧利用状況は、以下の表V-4のとおりである。外部閲覧者数については、前年度と比べ73名増加した。蔵書貸出については、機構内の貸出冊数が、前年度と比べ770冊減少したことに対し、外部への貸出冊数は253冊増加した。郵送による資料複写枚数は、前年度と比べおよそ半減となった。

表 V-4 2013年度閲覧利用状況

	2012年度	2013年度
①外部閲覧者数	5,086人	5,159人
うち土曜日分	443人	497人
②蔵書貸出冊数	9,754冊	9,237冊
うち内部	7,998冊	7,228冊
うち外部	1,756冊	2,009冊
③資料利用冊数	33,093冊	3,2149冊
④資料複写枚数	118,506枚	114,953枚
うち郵送依頼分	12,679枚	6,458枚

また、研究所図書館見学は46件、372人（国内285人、国外87人）であった（2012年度は55件、386人）。

(2) 利用者アンケートの実施

研究所図書館では毎年、外部利用者及び職員の満足度を調査し、利用者サービスの向上のために役立てている。2013年度のアンケート結果は次のとおりであった。

①外部利用者アンケート（2013年11月1日～12月27日実施）

配布総数：363通、回収数：314通、回収率：86.5%

総合役立ち度（役立ち度上位2位の割合）：99.0%

②職員アンケート（2013年11月1日～12月27日実施）

配布総数：171通、回収数：57通、回収率：33.3%

総合役立ち度（同上）：96.5%

(3) 研究支援

図書館間相互貸出サービスとして、職員からの依頼により、外部図書館から564冊の資料を借り受け、235件の論文等の複写取り寄せを行った。研究所図書館の各種サービス及びデータベース利用方法に関する情報リテラシー研修会を全職員、研究所新入職員、IDEASの日本人研修生及び外国人研修生、客員研究員を対象としてそれぞれ実施した。

(4) 新着アラートサービス

新着アラートサービス（利用者に対して希望する特定地域・分野に関する新着図書・雑誌論文の書誌情報を E メールで無料配信するサービス）の今年度の新規登録者数は 29 人で、2014 年 3 月末現在の全登録者数は 1,310 人となった。

5. 資料・情報相談

開発途上国の経済、政治、社会などに関する具体的な事情または資料について各方面から寄せられる照会に対しては、所内の研究者の協力を得ながら主に資料整理課が回答を行っている。

2013 年度の研究所全体の主な照会・相談件数は表 V-5 のとおりである。

表 V-5 2013 年度主要照会・相談件数

地域 対象主題	開発途上国全般	アジア全般	東アジア	東南アジア	南アジア	中央アジア	中東	ラテンアメリカ	アフリカ	オセアニア	その他	照会事項合計
経済		4	15	61	8			23	30	1		142
政治	1	2	10	24	6		8	12	33	1		97
社会			4	10		5	2	1	11	1		34
農林・漁業	1	2	2	16	3			3	7			34
金融・投資	3	1	3	13	2			2	3			27
環境	1	6	10	7					2			26
企業	1	2	5	5	1			1	8	1		24
労働	2	3	4	7	4	1		2	1			24
資源・エネルギー		1	1	10			1	2	7	1		23
貿易・通信・運輸	3	1	3	9	2			3	1			22
商業・流通・サービス	1	1	1	8		1	1	2	4			19
援助	4	1		3	1				8			17
工業・技術			2	5	7			2				16
法律		1	1	6			1	1	1			11
教育			1	8	1							10
人口			2	2	2	1			1			8
財政	1		1	1					1			4
地理			3									3
一般・その他	6	6	3	17		1	2	12	44	1		92
利用・蔵書案内											277	277
合計	24	31	71	212	37	9	15	66	162	6	277	910

6. 資料展示会・講演会

図書館の利用拡大と途上国理解のための啓蒙活動を目的として、表V-6のとおり、資料展示会と講演会を実施した。

表 V-6 2013 年度資料展示会及び講演会開催一覧

開催月	内容	開催場所
2013年 4～5月	資料展「アフリカと出会う 300冊—TICA D Vに向けて」及び講演会（参加者 34名）	横浜市立中央図書館（共催）
5月	資料展「野上裕生さんとアジ研図書館」	研究所図書館多目的ルーム
5月	ミニ資料展⑧「CLMV 諸国の経済・社会」	研究所図書館サテライト
6月	ミニ資料展⑨「湾岸協力会議（GCC）諸国」	研究所図書館サテライト
6月	資料展「アフリカと出会う」及び講演会（参加者 67名）	浦安市立中央図書館（共催）
7月	ミニ資料展⑩「アフリカを読み解く 100冊」	研究所図書館サテライト
11～12月	資料展「イスラーム世界の女性たち」及び講演会（参加者 35名）	お茶の水女子大学附属図書館（共催）
12～1月	ネルソン・マンデラ資料展「マンデラが語る南アフリカ」	研究所図書館多目的ルーム
2014年 1～3月	資料展「イスラーム世界の女性たち」	研究所図書館
2～3月	資料展「タイ社会の動乱を読む」	研究所図書館多目的ルーム

7. デジタルアーカイブ

AIDE（アジア経済研究所出版物アーカイブ）及び ARRIDE（学術研究リポジトリ）の登録数は、表 V-7 のとおりである。特に、AIDE については『ラテンアメリカレポート』（1984～2001年）62冊（315件）を遡及的に登録した。

表 V-7 2013 年度デジタルアーカイブ登録数

データベース	種類	前年度末累計		2013 年度		累 計	
		冊 数	PDF 数	冊 数	PDF 数	冊 数	PDF 数
AIDE	図書	749	6,777	14	155	763	6,932
	雑誌	315	4,247	85	622	400	4,869
	合計	1,064	11,024	99	777	1,163	11,801
ARRIDE	論文	—	953	—	76	—	1,029

デジタルアーカイブのアクセス数は 3,248,124 ページ（2012 年度：2,475,011 ページ）で、2012 年度比では 31.2%の増加となった。また、ダウンロード件数は 2,395,481 件（2012 年度：1,743,144 件）で前年度比 37.4%増となった。

8. 図書館間協力

(1) 図書館間相互貸借・複写

図書資料の利用促進を目的として「図書館共同利用制度」を新設した。この制度は、協定締結機関が相互の構成員への個人貸出及び図書館間の相互貸借のサービス提供を行うものである。

2013年度は、一橋大学、東京外国語大学及びお茶の水女子大学の各大学附属図書館と同制度に関する協定を締結し、サービス提供を開始した。同制度を利用した今年度の個人貸出冊数は、335冊であった。

このほか、図書館間協力・交流の推進を目的として、専門図書館協議会、アジア情報関係機関懇談会（国立国会図書館主催）、千葉市図書館情報ネットワーク協議会、法律図書館連絡会の各種会合・研究集会・セミナー等に参加した。

また、国立情報学研究所 NACSIS-ILL システム、専門図書館協議会参加館間等の貸借を合わせた貸出受付点数は 1,186 冊、複写受付件数は 770 件となった。国立情報学研究所の統計情報によると、当館の NACSIS-ILL による他機関への図書の貸出冊数は 1,125 冊で、加盟している 1,564 館中第 6 位と貢献度が高かった（2012 年度は 1,563 館中第 5 位）。

(2) レファレンス協同データベース

国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」に引き続き参加し、2013 年度はレファレンスデータを 105 件登録した。また、これまで提供したレファレンスデータが年間 68,106 件参照され、その貢献が評価され礼状を受けた（2012 年度の参照件数 49,753 件）。

9. 資料・情報委員会

資料・情報委員会では、情報発信分科会、図書館・情報システム分科会、図書館将来構想分科会の 3 分科会を設けて活動した。

(1) 情報発信分科会

アジ研ワールド・トレンド 2014 年 4 月号「特集：新しい研究図書館を描くー海外の実践にみる知の集積・発信のいま」の企画・立案を行った。また、図書館のウェブページ上で開発途上国の統計情報ガイドを構築し、発信するため、現在のウェブページの見直しと新コンテンツの構成の検討を行った。

(2) 図書館・情報システム分科会

図書館システム統合に向けて月例会議をビジネスライブラリーと開催し、統合に向けた仕様概要を策定するとともに、両ライブラリーの件名表の統合に向けた準備作業、相互に所蔵する機構出版物の目録整備作業を実施した。また、次期電子図書館システムの検討のため、業者へのヒアリングによる情報収集を行った。

(3) 図書館将来構想分科会

図書館をめぐる情報環境が変化する中で、研究所図書館の将来構想案である、「アジア研究図書館ビジョン 2015-2020」を作成した。特に、アメリカ、カナダ、イギリス等での先進的図書館調査を将来構想案に反映させた。

10. 市場化テスト

2011年度に実施された「アジア経済研究所図書館運営業務官民競争入札」で、研究所図書館が落札し、第2回市場化テスト（2012年度～2014年度）においても、引き続き研究所図書館が自ら運営することになった。

2013年度は、業務実施において、数値目標（図書配架冊数 12,000 点以上、雑誌記事索引採録件数 12,000 件以上など）や納期（各種資料の配架までの日数、雑誌記事索引の採録から配架までの日数、ILL への迅速な対応など）をほぼ達成することができ、順調に業務を実施した。